



2026 年 1 月 23 日

各 位

会 社 名 鴻 池 運 輸 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦
(コード番号：9025 東証プライム市場)
問 合 せ 先 常務執行役員 大 淵 和 夫
経営企画本部本部長
TEL 03-3575-5753

乳業業界初の冷蔵機能を備えた燃料電池トラック（FCEV）を導入

江崎グリコ株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長 江崎悦朗）、鴻池運輸株式会社（本社：大阪市、代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池忠彦）は、乳業業界として初の冷蔵機能を備えた燃料電池トラック（FCEV）※1 を共同で導入し、2026 年 1 月 20 日より運用を開始しました。本車両は、岐阜工場で製造した学校給食用牛乳を地元の小学校に届けます。従来のディーゼルトラックと比較して、年間約 29.9 トンの二酸化炭素（CO₂）※2 の排出削減を見込んでいます。

つきましては、本日添付のニュースリリースを行いましたので、お知らせいたします。

以 上

共同プレスリリースのため重複して届く場合がございます。あらかじめご了承ください



2026 年 1 月 23 日
江崎グリコ株式会社
鴻池運輸株式会社

乳業業界初の冷蔵機能を備えた燃料電池トラック（FCEV）を導入

～低炭素社会の実現に向け、年間 29.9t の CO₂削減を目指す～

江崎グリコ株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長 江崎悦朗）、鴻池運輸株式会社（本社：大阪市、代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池忠彦）は、乳業業界として初の冷蔵機能を備えた燃料電池トラック（FCEV）^{※1}を共同で導入し、2026 年 1 月 20 日より運用を開始しました。本車両は、岐阜工場で製造した学校給食用牛乳を地元の小学校に届けます。従来のディーゼルトラックと比較して、年間約 29.9 トンの二酸化炭素（CO₂）^{※2}の排出削減を見込んでいます。

※1 FCEV は、Fuel Cell Electric Vehicle（燃料電池電気自動車）の略称で、水素と酸素の化学反応によって電気を生み出し、その電力でモーターを駆動する車両です。排出は水のみで、CO₂や NO_x などの有害物質を排出しません。

※2 CO₂排出削減量＝年間 8 万キロ走行した場合/軽油の CO₂排出係数（燃焼時）：2.619kg/ℓ からの試算値

引用元：「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令」（経済産業省・環境省）



冷蔵機能を備えた燃料電池トラック（岐阜県安八町のグリコマニュファクチャリングジャパン岐阜工場）

導入の背景と目的

江崎グリコは、持続可能な社会の実現に向けて、環境負荷の低減に取り組むことをマテリアリティ（重要課題）とし、物流においては、「商品を安心・安全に届ける」のみならず、サプライチェーンでの環境負荷を低減する取り組みを推進しています。鴻池運輸は、物流業界における脱炭素化を推進し、環境に配慮した輸送サービスの提供を目指しています。FCEV は走行時に CO₂を排出せず、静音性や低振動といった特性から、住宅地や通学路をはじめとした学校周辺での運行にも適しています。

こうした利点を踏まえ、両社は食品物流におけるゼロエミッション化を目指し、FCEV の導入を決定しました。

導入車両の概要



車両の背面

積載量：2,750kg

車両サイズ：全長 6.84m、全幅 2.23m、全高 3.00m

航続距離：約 260km

水素充填時間：約 10 分～15 分

最大出力：109kW

台数：1 台

製造者：いすゞ自動車

使用者：鴻池運輸（トヨタファイナンスより鴻池運輸がリースを受けて使用）

導入スケジュール

運用開始：2026 年 1 月 20 日

配送拠点：グリコマニュファクチャリングジャパン株式会社 岐阜工場（岐阜県安八町）

配送対象：岐阜工場で製造した冷蔵品（主に小学校向けの牛乳）を配送します。

導入に関連した取り組み

今回の FCEV 導入を契機に、江崎グリコと鴻池運輸は水素エネルギーの活用を推進します。岐阜工場内には既に燃料電池フォークリフトを導入しており、工場内外での水素利用を拡大することで、低炭素社会の実現を加速します。また、工場に設置した水素ステーションは、通常の運用に加えて緊急時には FCEV トラックへの水素供給を可能とし、事業継続を確保します。

さらに、運用開始後には、配送先の小学校で出前授業を実施します。FCEV の仕組みや水素エネルギーの特性をわかりやすく紹介し、次世代への環境教育を推進します。

今後の展望

今後は、以下の観点から FCEV のさらなる活用と社会実装を進めてまいります。

1. **温度帯別の実証検証**：冷蔵・冷凍・常温など複数温度帯に対応した運用可能性を検証し、食品物流の実用性を高めます。
2. **大型車両や長距離輸送への展開**：小型車両での運用を検証し、FCEV 大型車両や長距離輸送への展開を進め、さらなる物流のゼロエミッション化を図ります。
3. **教育・啓発活動**：小学校での出前授業をはじめ、次世代への環境教育を実施し、持続可能な社会づくりに貢献します。

両社は今後も、食品物流における低炭素社会の実現をリードし、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを加速してまいります。

<会社概要>

江崎グリコ株式会社

江崎グリコ株式会社は、「すこやかな毎日、ゆたかな人生」をパーパスに掲げ、1922 年の創業以来、菓子、冷菓、乳製品、加工食品、食品原料、海外事業など幅広い領域で価値創造に取り組む食品企業です。Glico グループは人々の良質な暮らしのため、高品質な素材を創意工夫することにより、「おいさと健康」を価値として提供し続けます。

鴻池運輸株式会社 (<https://www.konoike.net/>)

KONOIKE グループは、物流の枠を超え、製造、医療、空港業務などを通じ、社会課題の解決と革新に挑戦し続ける、プロフェッショナルサービス集団です。

商号	鴻池運輸株式会社 ※東証プライム市場	代表者	代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦
大阪本社	大阪市中央区伏見町 4-3-9	東京本社	東京都中央区銀座6-10-1
創業	1880（明治 13）年 5 月	会社設立	1945（昭和20）年5月30日
資本金	1,723百万円	従業員数	約25,000名（連結） ※臨時雇用者数を含む
売上高	344,987百万円（連結）	営業利益	21,385百万円（連結）
事業内容	鉄鋼事業、エンジニアリング事業、食品関連／定温物流事業、食品プロダクト関連事業、生活関連事業、メディカル事業、空港事業、国際物流事業、インド事業		

※資本金、売上高、営業利益、従業員数：2025年3月31日現在

<報道機関の問い合わせ先>

江崎グリコ株式会社 グループ広報部

電話:050-1744-8109

Email:koho-hodo@glico.com

鴻池運輸株式会社 広報室 古屋・刀根・霞谷

電話:03-3575-5753